

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成26年 6月 7日			
所属学部・研究科	経済 学部 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	タマサート大学 (国名: タイ)			
所属学部・学科等名	Thai Studies			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 25 年 8 月 8 日 ~ 平成 26 年 5 月 31 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: ED (学生) VISA			
	ビザ申請先: 在日タイ大使館			
	取得方法, 提出書類: 直接東京のタイ大使館に行き申請。 受け入れ通知書 (タマサートから送られてくる) 派遣書 (広大から) 大使館指定の申請用紙を提出			
	手続きに要した日数: 1日			
その他必要な事前手続き	特になし			
出国年月日	平成 25 年 8 月 6 日			
経路	飛行機 (成田からスワンナプーム国際空港)			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	有り 授業開始前日 午前: 留学生全体 午後: 学部別			
帰国年月日	平成 26 年 5 月 15 日			
経路	飛行機			
2. 留学経費について				
所要経費	総額		円	
	内訳	渡航費	10万	円
		保険料	13万	円
		教科書代(学費)	1000	円
		宿舍費	20万	円
		食費	30万	円
		その他 (費) (費) (費)		円 円 円
3. 授業について				
2013年前学期	8 月 9 日 ~ 12月 10 日			

2014年 後 学期	1 月 10 日 ~ 5 月 3 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	授業の最初にシラバスを元に説明がある。レポート、プレゼンテーションが多い。 授業は全て英語。タイ語を学ぶ授業もある。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	授業は全て英語で行われるが、タイ独特の英語の発音があり、聞き取れないことも多かった。 タイ語を上達させたいならば、大学の授業だけでは足りないので、自分で語学学校に通うほうがいい。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 7帖 <input type="checkbox"/> 同居人の有無 <input type="checkbox"/> 有 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり 8000バーツ (現地通貨) 約 24000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	多くの留学生は大学紹介のアマリンマンション(留学生のみ)か3J(タイの学生多い)に住む。 タイ語か英語どちらを上達させたいかで選ぶのがいいと思う。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 13万 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	

日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：	
留学先国の医療事情（日本と比較して）	大学指定で加入した保険適用のあるサミチベート病院は日本人病院として有名。日本人スタッフ、医師も居て、安心できたし、日本と同じように手軽に利用できた。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	初めの頃はお腹を壊すことが多かった。屋台は安いけど、衛生面ではあまりよくない。デパートなどの飲食店はタイ料理よりも日本料理が多く、値段も日本と同じくらい。	
(3) 危険を感じた地域、状況		
デモを行っている付近には近寄らない。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
水道水が飲めないので毎日ミネラルウォーターを買います。屋台などで出される飲料水は水道水のことが多いので、極力ミネラルウォーターを持参する。コンビニは多いので、生活用品の心配はないと思う。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 未定 年 月 (当初の卒業予定年平成 27 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	帰国後、時期は遅いが4年で卒業することを視野に入れて就職活動始めた。希望の会社に決まらなければ大学5年かける予定。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	卒業単位に近づけるように、大学2年のうちから計画的に履修していた。	
6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等		
書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
7. 自由記述(後輩へのアドバイス等)		
留學生活勉強に特に力を入れたいと考えている人は、強く自分の目標を定めるほうがいいと思う。日本以外の交換留学生はタイに遊びに来ている割合が高く、自分の目標を持っていないと流されて、遊ぶばかりの留学になってしまうと思う。大学の厳しくないなので、自分の勉強(タイ語の塾に行くなど)をするには最適だと思う。		

学習の概要に関するレポート

タマサート大学では **Thai Studies** という学部属していました。留学生専用の学部でタイの学生はいません。しかし、広大と同じように他学部の授業も履修することができるので、タイ人の友人をつくることは可能ですし、3J（留学生に紹介される寮の一つ）に住めば、タイ人の学生も住んでいます。**Thai Studies** を含め留学生に提供される授業は全て英語で行われます。教授によってはタイ独特の英語訛りがあり、授業を聞き取るのに苦労することもあります。授業の構成は広大と同じように、最初の授業でシラバスが配布され、そのシラバスに沿って進められます。履修修正期間が設けられており、シラバスを見てから変更することが可能ですが、学部によって期間が微妙に異なるので注意が必要です。授業は一コマ3時間で、途中で休憩15分を挟むことが多いです。日本と比べて1コマが非常に長いですが、教授によっては開始時刻を遅らせたり、休憩を長くとってくれる場合があります。

Thai studies は留学生専用ということもあり、他の学部比べて授業が緩いと感じました。具体的には、形式上出席を取っていますが、欠席が連続しても何も言われませんし、成績にも大きく影響しません。そのため、履修30人のクラスに3人しか来なかったこともあります。他の学部はタイの学生が9割を占める為、出席はかなり厳しくつけられているように感じました。また、どの学部も共通してセメスターの終わりにレポートとプレゼンテーションが課題になりました。私はこのプレゼンテーションの準備が大変でした。私たちと交流のある同じキャンパスのタイ人の学生たちは、基本的にすべての授業が英語で行われていると共に、大学入学まえから留学していたり帰国子女の生徒が多いため、何か分からない事があったら友人達に相談し、原稿のチェックはネイティブスピーカーにお願いするなどして、何とか毎学期プレゼンテーションを乗り越えていました。日本の大学ではない経験ですし、何よりも英語力が身につくので、逃げることなくプレゼンテーションに臨んだほうが良いと思います。

また、タマサートで開講されているタイ語の授業についてですが、もしタイ語を使いこなせるようになりたいと考えているならば、不十分だと感じました。私は、タイ語を上達させたいと考えていたので、前学期のうちは学校の授業のほかに月～金毎日3時間、街中心部のタイ語教室に片道1時間かけて通っていました。ここで集中してタイ語の読み書き、会話を勉強したことで、全てタイ文字で書かれているバスの表示を読むことができるなど、日常生活で困る事は大幅に減りました。また、学校ではほとんど課題がなかったため遊びに夢中になる留学生がいる一方で、毎日通うことで遊びに流されることなく生活ができたと思います。タイには多くの企業の駐在員の方がいる為ブログなどを通して安くて評判のいいタイ語学校の情報を得ることができます。週1回でもいいので、生活にメリハリをつける意味で自分に合いそうなタイ語学校に通うことをお勧めします。私は前期はタイ語学校、後期は英会話に通っていました。日本を比べても破格で気軽に言語を学ぶ事ができるのでおすすめです。



生活の概要に関するレポート

タイでの生活は、交通面において不自由に感じる部分が多かったです。タマサート大学、アパートの周辺はBTS、MRTが通っていないため、移動はバスかタクシーを使います。バスは行先がタイで書かれている為、バス側面に書かれている番号を頼りに乗る必要があります。また、料金は乗車してすぐに車掌が回収しますが、料金が一律ではないため、自分の行先をはっきりと伝える必要があります。降車時も、バスの放送はないので目的地周辺の景色を覚えておいて、バス停の近くで自分からボタンを押して降りることを知らせる必要があります。また、時刻表がないので、バス停でバスが来るのをゆったり待ちます。すぐ来ることもあれば、最長で1時間半待ったこともあります。私がよく使っていたバスは、3Jの前のPinklaoのバス停から出る79番のバスです。バンコク中心部であり、BTSの駅でもあるSiamまでバスに乗り、そこからBTSで日本人街のあるASOKに出かけることが多かったです。PinklaoからSiamまで13バーツ（約39円）で40分ほどで着きます。初めの頃はバスを利用する際戸惑うことが多かったです。慣れてしまえば安く安全で最も確実な移動方法だと思います。日本人向けのバスのガイドが、BTS Chit Lom 駅（Siamから歩いて行けます）前にある伊勢丹デパートの紀伊国屋で売っています。紀伊国屋には日本語の本、タイ語の教本、観光ガイドなど、タイで生活する上で必要な本が沢山売られています。

タクシーの利用ですが、初乗り料金が30バーツくらいからで、タクシーの量も多いので、気楽に利用することができます。タクシーを利用する際は、運転手がメーターをキチンとスタートさせているか確認して下さい。後で不当に高い料金を請求されることがあります。空港など外国人客を狙ったタクシーでは、メーターをわざと早く上げるように設定しているものもあります。また、タイのタクシーは乗る前にまず運転手に行先を伝え、その場所に行ってくれるか、知っているか、確認します。渋滞がひどいバンコク中心地には行きたがらない運転手が多くいます。また、運転手が安心できる人でない可能性も高いので、おかしいと思ったら降りる、乗らない判断を自分でしてください。特に夜間は危ない運転手が多いので、なるべく利用しないほうがいいと思います。利用する際には、女の子だけでは乗らず、できる限り男の子と一緒に利用してください。私は留学中、一人でタクシーに乗らないと決めていました。タイ語を勉強してある程度理解できたので、危険なタクシーに乗るよりはバスの車掌さんに聞くなどして、バスを乗り継いで家に帰るようにしました。時間はかかりますが、安全を何よりも優先していました。

また、普通に生活している分には会えることはないですが、覚せい剤や薬っばが出回っていることを忘れないください。同じ留学生の中でも使用している人がいて、日本人の友人も実際に使用している現場を何度も見たことがあると言っていました。日本よりも簡単に手に入ってしまう環境です。コパンガン島で行われているFull Moon Partyは別名麻薬パーティとも呼ばれていて、実際に使用したかはわかりませんが、興味本位で多くの留学生が参加していました。自分の身は自分で守ること、夜間は不用意に出かけない事を心がけていれば、日用品や食事など困る事はなく、とても楽しく生活が送れると思います。

